

旧梅津歯科医院診療棟ほか5件

名称	所在地	建設年代	特徴など	種別		基準
旧梅津歯科医院診療棟	上山市	昭和2年	上山城下に位置する元御殿医の医家で、近代に建てた和洋館併設の歯科医院。二階建て洋館の診療棟は、入母屋造り※ ¹ 鉄板葺きフィニアル付※ ² 、ペディメント風※ ³ のポーチを突出する。診療室の天井中心飾りや階段手摺等、全体に洋風意匠を凝らす。二階建和館の住居棟は、入母屋造り鉄板葺きで鬼板※ ⁴ 付、二階は格天井の続き座敷で、眺望の効く開放的な造り。庭を望んで位置する落ち着いた座敷蔵の床付き座敷と好対照な接客空間とする。土蔵はほかに穀物蔵と味噌蔵があり、穀物蔵は開口部に太い鳥居杵を塗り上げる。屋敷裏側には、裏門と黒板塀を廻らし城下の良好な景観を形成する。	建築物	文化福祉	2
旧梅津歯科医院住居棟	上山市	昭和2年		建築物	文化福祉	2
旧梅津歯科医院座敷蔵	上山市	大正11年		建築物	文化福祉	2
旧梅津歯科医院穀物蔵	上山市	大正後期		建築物	文化福祉	1
旧梅津歯科医院味噌蔵	上山市	大正後期		建築物	文化福祉	1
旧梅津歯科医院裏門及び黒板塀	上山市	大正後期		工作物	文化福祉	1

参考

○基準＝登録有形文化財登録基準

- 1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- 2 造形の規範となっているもの
- 3 再現するものが容易でないもの

※¹入母屋造＝寄棟屋根に、切妻屋根を乗せたような形態の屋根

※²フィニアル＝屋根に施された装飾

※³ペディメント＝屋根にデザイン的に設けられた三角形部分

※⁴鬼板＝屋根の箱棟の両端に取り付けられた飾り。



診療棟（ペディメント風ポーチ）



診療棟（フィニアル付き入母屋造り屋根）



住居棟（鬼板付き入母屋造り屋根）



住居棟（二階 格天井の座敷）



座敷蔵



穀物蔵（開口部に鳥居枠を設置）



穀物蔵（内部）



味噌蔵



裏門及び黒板塀